

アマチュア演奏家のたのしみ-音程は友情なりの精神で- 『銀座百点』 NO.397-1987.12.00

アマチュア演奏家のたのしみ

“音程は友情なりの精神で”

★龍角散オーケストラと共演するピアノの藤井氏



中^{なか} 藤^{ふじ} 熊^{くま}

嶋^{じま} 井^い 倉^{くら}

嶺^{みね} 康^{やす} 一^{かず}

雄^お 男^お 雄^お

(龍角散社長)

(俳優)

(東京外国語大学教授)

・焼け跡で出合った一枚

本誌 本日はクラシックがお好きで、ご自分でも楽器を演奏されるお三方にお集まりいただきました。中嶋先生はヴァイオリン、熊倉さんはフルート、藤井さんはピアノとフルートを演奏なさるようですが、そもそも楽器を手にするようになったのは、いつごろからですか。

藤井 ピアノは戦前からうちに古いのがありまして、隠れて触ったりはしていたんです。私は昭和五年生まれ、いまの都立大の前身、府立高校の尋常科三



(中嶋崇雄氏)



(藤井康男氏)



(熊倉一雄氏)

年のとき終戦を迎えたんです。この学校はたいへんリベラルな雰囲気の中で、先生に経済史学者でチェロ奏者としても有名な松田智雄さん、「城ヶ島の雨」の作曲で有名な染田貞さんなどがいらした。生徒では一級下に三善晃、先輩に遠山一行、皆川達夫さんなどがいまして、音楽と深い結びつきのある人が多かったですね。

熊倉 藤井さん、実はぼくも府立出身でオーケストラでフルート吹いてたんですよ。ぼくのほうが二年くらい上かな。

藤井 これはこれは先輩、存じ上げなくて失礼しました(笑)。まあ、今の若い人は戦争直後の「竹の子生活」といっても分からないでしょうが、昔の名門やお金持ちが収入がないので、竹の子の皮を剥ぐように売り食いをしてたんですね。その中に戦前の素晴らしい名盤があった。そういうとき、友人から、「いい出物があるぞ」と言ってレコードを押し売りされた。それがアルトゥール・シュナーベルのベートーベンの「皇帝」だったんですね。最初のFドゥアのハーモニを聴いたとき、こんな音が世の中にあっただのか、とカルチャー・ショックを受けて。これがきっかけでピアノとフルートを始め、我流でこまできてしまいました。焼け跡で出合った一枚のレコードで音楽に目覚めたということですね。

中嶋 ぼくは昭和十一年生まれで、皆さんよりちょっと後の世代ですが、生まれ育ちが長野県松本市なんです。

護井 鈴木鎮一先生の才能教育で？

中嶋 そのほしりなんです。子供のころから音楽が好きで、ミッシェ・エルマンのいわゆるエルマントーンで「トロイメライ」なんか聴いて子供心に感心していたんです。そういうとき、鈴木先生が昭和二十一年に松本音楽院というのを作られた、ぼくはその第一期生みたいなかたちなんです。当時先生のところには豊田耕児さんとか小林健次さんとかいう天才がいましたので、brookなんかととてもじゃないと思いましたが、結局学問の道を選ぶことになりました。大学ではオーケストラのコンサートマスターをしたり、当時アマだった都民交響楽団で弾いたこともありまうす。それから学問のほうに忙しかつたんですが、この年になると、故郷に回帰していくように、しょっちゅう音楽をやるようになりました。

「魔笛」序曲に魅せられて

熊倉 中嶋さんのお話を聞いて、これはわれわれと違つてすごいオーソドックスだと思えますね。ぼくなんか下町育ちだったから、レコードという浪花節だったり落語だったりで。それがなにかの拍子でモーツァルトの「魔笛」序曲を聴いて、いかれちゃった。それから火がついてコンサートに行くようになったんです。そこで、山田一雄さん指揮のベートーベンの第七交響曲に出合い、もう魂天外に飛ぶ、って感じになって。それで自分でもなにか演奏

きもの 小もの

銀座店 ☎ (03) 571-5388
銀座コア店 ☎ (03) 572-4015

赤坂 ・ 渋谷 ・ 名古屋

伊勢油 い せ 油



髪を傷めない
ハイグレードなおしゃれ染め
“ドレスアップ・カラー”
お気に召す色
いろいろ。



BelleCoiff'
USHIYAMA



561-6188

松屋銀座・4階[木曜休業]時間予約制

MATSUYA GINZA

したいと思って府立高校のオーケストラに入ったけれど、なんの楽器もないから皆さんに追いつかない。

熊倉 人に迷惑をかけちゃう？

熊倉 そうなんです。なにしろ「下手の横吹き」で(笑い)。そこで、東京高校の連中が作っていた小さなアンサンブルに管がいらないというので、そこへ行きました。そのアンサンブルが「未完成室内交響楽団」という変な名前でした(笑い)。その連中も腕が上がってきて、そこも敗退。でも同時に始めたコーラスは今でも続いていますし、フルートもずっと触っています。

中嶋 戦時下で西洋音楽なんていたらたちまち睨まれたでしょうに、旧制高校には、そういう自由な精神がみなぎっていたんですね。

熊倉 楽器から楽譜まで全部揃っていましたからね。ティンパニーまでありました。だいぶいかれていただけ。

藤井 直すのが大変でした。フルートな

んかキイの調整するのが苦しかった。

熊倉 しようがないから、例のスキンというやつを薬局へ買いにいったね、あれでなんとか直しました。

藤井 あれ、買いにいくの、なんとも恥ずかしくて(笑い)。

熊倉 直すのも自己流なら、演奏するのもし己流。

藤井 今に至るも完全に我流なんです。

一回だけ霧生トシ子さんに見てもらったことがあるんですが、「どうしてこうやって弾けるか分からない、でもあなたのやり方をいじるとダメになるからこのままでいきなさい」って完全に匙を投げられました(笑い)。

熊倉 でも毎年大コンサートを開いてらっしゃいますね。

藤井 はい。いつも十月に中央会館で会社のオーケストラを率いて演奏会を催して来年で二十回になります。モーツァルトのピアノ協奏曲を毎年一曲ずつ弾いていますが、モーツァルトは全部

で二十七曲ありますから、あと七年かかります。十周年のときは、ぼくを音楽に目覚めさせた憧れのベートーベンのピアノ協奏曲「皇帝」に挑戦しました。なにしろ社員のオケですから、こっちが止まれば、あっちも止まってくれますしね(笑い)。フルートのほうもモーツァルトのフルート協奏曲ニ長調をはじめソロでいくつかやりました。いま、モーツァルトのピアノ曲を全部暗譜しようと。もう半分いきましたか。

熊倉 ううむ、それはすごい。

紅衛兵との合奏

本誌 中嶋先生は、この前サントリー・

ホールで演奏なさいましたね。

中嶋 ええ。あのホールのこけら落としの夜、私のようなアマチュア音楽愛好家が六人、「音楽と私」というテーマで話すプログラムがあったんです。そのプロデューサーが、ぼくがヴァイオリン弾くのを知ってたものですから、喋るよりなにか弾けということでした。

本誌 曲目はなにを選ばれましたか。

中嶋 いちばんやさしくて何回弾いても大丈夫なものということで、バッハのチェロ組曲第三番の「ブーレ」というのを弦楽四重奏用に編曲したものを、東京交響楽団の伴奏で独奏しました。ぼくのあとに鈴木門下の本物の江藤俊哉さんが弾かれたのですが、楽屋で「ぼくよりうまく弾かないでくださいよ」なんておっしゃっていただいたんで、若干気分が低ぐれたんですが、やっぱ

り緊張してたんでしようね。ふだんは絶対そんなことのない部分で音程が狂ってしまいました。オーブニングで観客が二千人でしょう。中国問題の講演かなんかなら、二千人の聴衆でもちっともあがらないのに、あのときはコチコチで(笑い)。

熊倉 皆さん、華々しい演奏歴をもってらっしゃるのに比べると、ぼくの場合は作曲家の服部公一君と、彼がクラリネット、ぼくがフルートのデュエットをときどきやる程度でして。彼が演奏するのに楽なように編曲してくれて「はい、これやってみよう」。初見でやって無事に終わりまでいったら、二人でもう、こう(拍手)なんです(笑い)。まあ、歌のほうはなんとか実を結びま



X'MAS・御歳暮・御贈答に
新鮮な果物を



フルーツ パーラー
ニュー銀座千足屋
TEL. (571) 2270・0259

して、三年前、ギルバート&サリバン
のオペレッタ「ミカド」で、ココとい
う大臣の役をやらしていただいた。

熊倉 衣装つけて歌ったんですか。

熊倉 ええ。それと一昨年二期会の東京
室内歌劇場でグループで「火の鳥」
という創作オペラに出演しました。

中嶋 それは素敵ですね。

中嶋 サントリー・ホールでの演奏とい
うのは、アマチュアとして、わが人生
のハイライトという感じですが、ぼく
にはもうひとつ、忘れられない演奏の
思い出があるんです。例の文化大革命
の激動のとき、ぼくは中国へ行ったん
ですが、当時はベートルベンなどの音
楽は、ブルジョア的ということで、中
国では全部追放されてましてね。たま
たま上海の工業博覧会に中国製のヴァ
イオリンとピアノが展示してあって外
国人だけは見せてもらえるんです。ま
わりは紅衛兵でいっぱい、「毛沢東万
歳」で例の「東方紅」を歌っている。

熊倉 ああ、中国の最初の人工衛星が流
した曲ですね。

中嶋 そうです。もともとは山西省の古
い民謡なんです。で、たまたまピアノ
が弾ける紅衛兵の女性がいたんで、二
人で即興で「東方紅」を合奏したら大
喝采でした。天下広しといえども、文
化大革命のとき、紅衛兵と合奏したの
は私ひとりだろうと、ヴァイオリンを
やっていてよかったと思いましたね。

音楽と知的職業

熊倉 戦争直後とくらべたら、いまは夢
のような時代ですね。手に入らない楽
譜ないんですもの。戦後はベートルベ
ンのソナタの楽譜なんかでもまともな
ものはなかったですね。

熊倉 だから、まず耳譜から始めなきゃ
いけない。譜面ができ上がっても、そ
のままじゃなにもできない。演奏する
ためには全部編曲し直すんです。

KANAYAMA



当店にて
マイブルリーフ・イーグル金貨の
販売をしております

東京銀座 **カナヤマ**
宝石・時計・メガネ

ジュエリーサロン 銀座6-7-16(並木通り) TEL(572)2211
メガネサロン 西銀座アパート2階 TEL(566)4034

本誌 どうしてですか。

熊倉 だって譜面にオーボエのパートがあっても、実際にオーボエがないからそれをどこかに振りかえなくちゃいけない。誰かが編曲して、それがパートに回ってくる。さあ、それでどんな音をするか。

藤井 ひどいもんで、先に終わっちゃったやつがいたんですよ。楽譜を間違えて二枚めくっちゃったんですよ（笑い）。もつとひどい話があつて、バッハのブランデンブルグ協奏曲の三番をやっているのに、二番の楽譜で終わるまで弾いたやつがいる。偶然小節数が同じだったんで同時に終わったんですね。あるいは無理に同じに終わらせたのかしら（笑い）。

中嶋 いまはアマチュアの水準がどんどん高くなってきていますね。弦楽器なんか、それこそ才能教育の普及で、私の勤めている外語大のオーケストラでも、子供のときからやっている人が半分ぐらいいるんです。ですから弦やフルートなど、かなり競争が激しくて、ちょっとできるくらいでは、オーケストラの席が確保できない。そういう意味ではアマチュアを軽視できませんね。

藤井 中嶋先生も入られた鈴木鎮一先生の才能教室の才能って、あれは音楽の才能じゃないんですね。鈴木先生は、言葉がしゃべれないうちに音楽をやる、ほかの才能が伸びるという信念を持っていらっしゃる。あの教室からブームになった人も少ないし、先生のよう

2Fギャラリー

ミカワ

12/1-12/6
セルビエ展(油絵)
12/8-12/13
小谷 豊 木工展
12/15-12/20
沢田 真佐子個展
ペインティング
「幕の内弁当」
12/22-12/27
田ノ井 玲子個展

四つ手結び

行く年冬將軍

心地よさと優しさを求めて装う。



オリジナルファッションアーツ



お問い合わせ
毎月曜休館 ☎(571)0157

銀座 三河屋本店 銀座通り8丁目 ☎(571)0136

に今も弾き続けている人も少ない。その代わり、知的職業の成功率が非常に高い。これは私の持論ですが、小さいときから音楽をやると右脳を刺激して創造性とか発想が豊かになるんですね。中嶋 それと音楽と語学の相関関係も非常に高いですね。うちは外語大ですから、ここでは音楽を入試にとり入れたら、って思っているんです。まあ、このブランは通りっこないけど。

藤井 音楽家が語学がうまいのは、文法など関係なく耳からやる。音楽として言葉を聞いていうんでしょうね。

熊倉 それは役者と同じですね。言葉そのものが音楽なんです。体の表現ひとつのリズムだから、音楽的感性がとても大事なんです。

家族との合奏が夢

藤井 うちの娘は、桐朋でピアノをやっていたんですが、クラリネットに転向して、コンセルヴァトワールへ行ってコンクールで一位をもらって、いま新日本フィルの副首席で吹いているんです。伴もヴァイオリンからフルートに転向してフランスに留学して、小さいコンクールですが一位をいただいて帰ってきた。家内はヴァイオリンと声楽をやるので、ぼくの長年の夢は、家族で合奏することだったんですが、この夢ははかなく潰えました。

中嶋 そうか。お子さんたちのレベルが高くなっちゃったんですね。

藤井 ええ。相手にしてもらえない。

ネ ク タ イ 高 級 洋 品 みどり屋

銀座8-8-1 ☎571-1952
西銀座デパート ☎566-4046
東京駅ヤエス地下街 ☎271-3970
銀座ニューメルサ ☎574-8003

東京・京都・大阪・札幌

銀座

尾張町ギャラリー

銀座4丁目(晴海通りに面した)高立地なギャラリー

63年度 予約受付中

諸美術及び趣味の作品展示会場として巾広く御利用下さい。

○壁面延長:34.5m ○床面積:79.5㎡(24.03坪)
○壁面高さ:2.68m ○使用料:1日¥50,000



※お問い合わせは下記へ
中央区銀座4-3-9 高橋ビル2階
〒104 TEL 03-561-0390

和光 尾張町ギャラリー

で、この間も怒ったんですよ。「音程は友情だ」というフルトヴェングラーの言葉を知っているか」。両親の耳が悪いからといってバカにしないで、同情する心を持って、って(笑い)。

中嶋 でも音楽というのはしょせんは心だと思ふんです。テクニカルにはどんなに素晴らしい演奏家

でも、本当にこの音楽、この作曲家を理解しているかっていうと、ものすごく疑問に感じることがありますからね。

藤井 技術的にうまいことが、邪魔になることがあるんですね。この間、娘がフランスへ行って、ブラームスを演奏したら、先生に怒られたそうです。「こんな曲は失恋を何回もして泣か

きや分らない曲なのに、お前はあまりにもきれいな音でチャラチャラ弾きすぎる」って。そういう問題もある。

中嶋 アルフレッド・コルトーが晩年に松本市へ来ましてね。ミスタッチがい

くつか目立ったんですが、にもかかわらず、あのときの感動って忘れられません。

藤井 日本人がクラシックとかかわるとき、いつも思うことなんです、ウインナワルツはウィーンの人になわな

いし、印象派の演奏は、フランス人のエスプリに歯が立たない。例外としてユダヤ人がいる。彼らは世界中の音楽

TOKYO

GINZA



Ishikawa

銀座のセンスと風格をお召し下さい

テラー石川

石川栄治

本店 / 中央区銀座6-10-10 / TEL571-0650 / 代
東急日本橋店 2F TEL211-0511 / 内線621
渋谷東急本店 2F TEL477-3437
東急吉祥寺店 4F TEL0422-21-5353
東急札幌店 4F TEL011-212-2414

をみなモノにしてしまう。

熊倉 世界中の名ヴァイオリニストって

ほとんどがユダヤ人ですものね。

中嶋 学問の世界でも同じです。

藤井 ノーベル賞、ヴァイオリン。日本人は彼らに次ぐ才能がありますかね。

中嶋 才能教育のおかげで、あちこちのコンクールで一位とるけど、これから世界的に伸びるか、というと、その音楽を理解する風土、民族性といった環境が鍵になるでしょうね。

カラオケとニューリーダー

中嶋 藤井さんの会社は、音楽ができることがリクルートの条件ですか。

藤井 入社試験のとき楽器なんか弾かせていたら会社潰れますよ(笑い)。ただ二十年もこういうことをしていますと受け皿があるものですから、そういう人が入ってくるんですね。

熊倉 いいことです。そんな会社があるっていうのは。

藤井 昼休みどきにシュニベルトの「鈴」

なんかが応接間から聞こえてくるんですよ。こういう話が外国にまで伝わりまして、外国人の学者さんが楽器持参でいらっしゃる。だから、いつでもピアノトリオ、クインテットが演奏できるようにしてあって、来社して演奏された方には、録音したテープを差し上げるようにしております。

中嶋 非常にいいことです。いま、日本の企業は国際社会のなかでもとても豊かになって、その経済力が注目されていますが、そういう意味での内需の拡大をすべきだと思えます。内需拡大というのと同じ道路やビルの建設を考えがちですが、そうじゃなくて、いけば文化的な深まりを社会の中に定着させるということですね。企業がみんなオーケストラを持って競争するようになったら日本はどんなに豊かになるか。いま、外国の話がでしたが、あちらの外交官とか、学者、政治家、み

んな楽器ができる人が多いんですよ。

藤井 中嶋先生ご自身がそのいい例です。し、数学者の広中平祐さん、小平邦彦さんなどピアノがたいへんお上手です。ただ、こういう例は、日本では数少ないほうで、自分の狭い専門分野しか話ができない人が多い。それじゃつまらないし、外国にいつても通用しない。

中嶋 ことに外国の政治家と日本の政治家とをくらべると落差が大きすぎますね。戦後ポーランドの首相になったパレフスキのピアノは別格としても、西ドイツのシュミット元首相の演奏の話は有名です。いま日本にいるイギリス公使のヒッチさんみたいへんな音楽家で、ピアノリストですものね。藤井 銀行とか官庁などでも、クラシックの趣味を持っていると、日本社会では疎外されるようなところがある。

中嶋 そういう意味で、日本のニューリーダーが、せいぜいがカラオケというんじや、どうしようもないんですよ。

会員募集



柳田青蘭書

学書院書道教室

中央区銀座四丁目六番一号(五六一・五〇五〇)
銀座三和ビル六階(三越・松屋の間)

銀座百点

12 1987
NO.397